

まつやまNPO サポセン だより

2013

春



P2~5

特集 まつやまNPOサポートセンター25年度事業計画のご紹介

P6~7

コラム NPOのファンドレイジング④ 助成金を使いこなす5つのコツ

P8~9

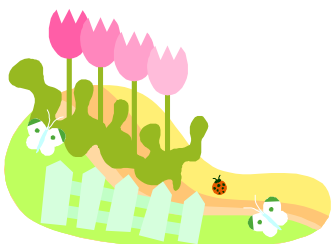
報告 市民活動交流会「NPO of the Year2012」を開催しました！

P10~11

コラム 「NPO会計基準」導入のコツ④

P12

おしらせコーナー



【発行】
まつやまNPO
サポートセンター

まつやまNPOサポートセンター 平成25年度事業計画のご紹介

サポートセンターの平成25年度事業計画をご紹介します。

今年度で、今期の委託期間(平成23～25年度)が終了します。

きちんと成果を残せるように取り組んでまいります！どうぞセンターを御愛顧ください。

❖ NPOのネットワークづくりを応援します。

NPOのネットワークづくりを積極的に進めるため、以下の取り組みを行います。

① 事務局機能(郵便、小包、メール、FAX受信)をお手伝いします

松山市NPO登録団体が、他団体と連携して事業を行う際の窓口機能をお手伝いします。

- ・イベント等の参加申し込み受付(メール、FAX)
- ・郵便、小包、荷物預かり
- ・打ち合わせ場所の提供など



② モノ・ヒトのシェアリングをすすめます

ひとものプラットフォームの積極的な運用を行います。

今までは「モノ」中心でしたが、これからは「ヒト(できること)」のシェアリングを行います。

また、「ほしいもの」「してほしいこと」の声も集め、ニーズの掘り起こしも行います。

③ 定期的な交流の場を設けます

NPO実践者による交流の場を定期的に設けます。

お互いの活動を知り合うことを通じて、友達づくりを進めませんか？

知り合うことが、助け合うことのきっかけになります。



❖ 市民が集まる楽しいイベントを行います。

市民活動をより多くの市民に知って頂くために、以下のイベントを開催します。

① 「みんなでトコトン話してみよう！」まつやまリーダーズサミット 2013

市民活動をテーマに、みんなで輪になって話し合う場を設けます。

じっくりコミュニケーションをとってテーマを深め合い、楽しく、真剣な時間を過ごします。

これをきっかけとして、意外な人との出会いがあるかも？

② 「今年いちばん輝いたのはだれ！？」NPO of the YEAR 2013

NPOによる団体PRのプレゼン大会を開催します。

参加者からの投票によって、各団体に寄付金をお支払する「寄付開発型」イベントです。

笑いあり涙あり、刺激的な時間をお届けします。

③ 「充実ライフを迎えよう！」還暦交流集会 2013

今年度還暦を迎える方を対象に、地域活動や市民活動に興味を持っていただけるイベントを開催します。自分たちが生まれた時代を振り返り、

そしてこれからの人生を新たにいきいきと過ごせるような、

充実した第2の人生を準備する機会を設けます。



④ コムズフェスティバルへの参加

毎年、松山市男女共同参画推進センターで開催されるコムズフェスティバル。

男女共同参画社会を作るために催されるこのイベントに参加し、市民の皆さんに市民活動の感覚を少しわかってもらえるような講座を開催しています。今年も楽しく、おしゃれにそれを感じていただける場を設け、市民活動の振興に取り組みます。

⑤ 「NPOのはじめかた」講座の開催

市民を対象とした、NPOの基礎知識と設立方法をお伝えする講座を開催します。

今年は、6月と9月、12月に開催を予定しています。

❖ みなさんの活動にスポットライトを当てます。

市民活動をPRするために、広報活動に取り組みます。

① 市民活動配送便の拡大

市有施設にチラシや広報誌を送る「市民活動配送便」。

4月から「児童館」(市内7か所)にも送れるようになりました！

どんどん使っていただいて、情報の拡散にご活用ください。

② 記者クラブへのニュースリリース

センターにお持ちいただいたチラシを、松山市記者クラブへ毎月1回投稿します。

また、「報道資料(プレスリリース)」を作ったことがない方向けに、作成のお手伝いをします。

メディアの人たちはNPOの情報を求めています。積極的にPRしてください！

③ サポセンだよりの発行

年4回、毎回1500部ずつを作成して、市内はもとより県内全域で広報誌を配布しています。

市民活動の動向やノウハウなどの読み物、お知らせなどを皆さんのところへお届けします。

また、ご要望があれば、発送時にみなさんのチラシを同封できます(6・9・12・3月発行)！

(ただし、送れるサイズや部数には制限があります。個別にご相談ください)

④ ITメディアの活用

ホームページでのイベント情報掲載や各種お知らせ、

NPOのリンク集を運営するほか、

ブログとFacebookも開設しています。

またメールも随時活用し、メールマガジンなどで

お知らせを行います。

イベントPR等のご希望の方はご連絡ください。

これらのメディアを使ってPRいたします。



❖ 団体運営がカンタンになるようお手伝いします。

みなさんの団体運営がもっと楽に、簡単になるようお手伝いをします。

① よろず相談対応

センタースタッフが、みなさんからの相談にお答えします。

各種手続きや会計、助成金申請など、ワンストップでお答えできるように努めます。

② 各種講座の開催

助成金、会計、決算、事務手続き、資金調達など、運営に関する講座を開催します。

これらの講座は初心者向けで開催いたしますので、お気軽にご参加ください。

③ マネジメント実践塾の開講

NPO法人等の経営者向けに開催する連続講座です。経営コンサルタントを講師に招き、団体の経営力向上を実現する実践型の勉強会を開催します。

こちらは②の講座に比べてハードルを高く設定しており、事業型NPOを目指される方向けとなっております。



④ 決算手続一覧・NPO備忘録の作成

NPO法人の決算手続にはどのようなものがあるかを解説するパンフレットと、NPOの日々の運営で、何をどの窓口ですればよいかを取りまとめたパンフレットの2つを作成します。決算手続はすでに3回の改訂を行っており、NPO法人の方からはよい評価を頂いております。

⑤ 認定NPO法人申請支援

適正で明確な経営が行われているという指標としても有効な、認定NPO法人への申請支援を行います。具体的には要件の適合チェックや、書類の書き方のご説明を行います。県内でもこの件に対応できる相談窓口はセンターだけだと自負しております。

以上、簡単に今年のセンター事業内容をお伝えしました。

今年もみなさまのご利用を、スタッフ一同心よりお待ち申し上げます！

NPOのファンドレイジング④

助成金を使いこなす5つのコツ

NPOにとって助成金や補助金は、経済基盤の弱い時こそ頼みの綱になります。
ですが、もらい方・使い方を誤ると、助成金依存に陥ってしまうおそれもあります。
そこで今回は、助成金を使いこなす5つのコツをお伝えします。

❖ コツ① 申請書は、丁寧に書く。

助成事業は、たいていどのプログラムでも企画提案型です。

これは、優れたプログラムを提案した団体にのみ、助成するというやり方です。

そしてほとんどの場合、申請書と添付書類だけの書類選考になります。

ですから、申請書は丁寧に書くことが必要です。

丁寧に書くとは以下のようなことです。

- ・ 簡潔に短い文章で伝えることは技術が必要。だから、なるべくたくさん具体的に書く。
- ・ 適度に改行、箇条書き、表組みを行う。ぎっちり書くと、審査員は読む気をなくす。
- ・ 専門的な用語や難しい漢字表現、カタカナ語は、やさしい日本語におきかえる。

❖ コツ② 助成元のビジョンは何か考える。

企画提案を募集しているからといって、何でもかんでも応募するのは考え物です。

助成元の団体には、それぞれ夢やビジョン、ミッションがあります。

助成金は、あなたが彼らの代わりにその夢を実現するために支払われるものです。

ですから、あなたの団体が向かっている方針と、

助成元が向かっている方針にズレがないかを見極めることは、

とても大切なことです。

助成金はテクニックでとれる部分も数多くありますが、

なんでもこじつけてもらおうとすると、必ずどこかで行き詰ります。

お互いに同じ夢を見ることができる関係を目指しましょう。



❖ コツ③ よくばらない。

助成金は、申請できる額の上限が決まっています。

そこで普通は、満額いっぱいギリギリを要求してしまいがちです。

ですが、それはやめておいた方がよいでしょう。

「たくさんもらったのはいいけど、使いきれなかった…」という声をときどき聞きます。

支給した助成元は、できるだけ使い切ってもらいたいのが実情です。返金手続は、支給手続きよりも手間がかかり、あまり気持ちの良いものではないからです。

また、「全体の●割まで助成、残りは自己負担」というルールには注意が必要です。申請額が増えれば増えるほど、自己資金の額も増えていきます。額面に惑わされて高額で申請し、後で自己負担が用意できないことに気づく、というケースも少なくありません。

❖ コツ④ 通帳や財布は、きちんと分ける。

複数の助成金をもらった時などは、必ず複数の通帳にそれぞれ分けて入れるようにしてください。また、手持ち現金も分けておく方がよいでしょう。

これを一緒にしておくと、目の前のお金をどの事業に使っているのかが分からなくなってきます。

そうすると、最後の会計報告を行う際に計算が合わないなど困ったことが起こります。その時には、かつての記憶もあやしくなっていますから、正しいことが思い出せません。

ですから、通帳や財布は分けておいてくださいね。



❖ コツ⑤ 使い道は、自主財源のタネづくり。

せっかく頂いた助成金を、もったいないことに使っていませんか？

助成金はそもそも、「次からは自力でやれるように」という前提で援助されるお金です。

ですから、助成金を頂いて行う事業は、自主財源のタネになるようなものにあてるべきです。

「助成金をもらったから、イベントの参加費をタダにしよう」という考え方はアウト。

きちんと適正な参加費を頂き、次回からは自主財源だけでやりくりできるようにしましょう。

市民活動交流会「NPO of the Year 2012」を開催しました

3月20日(祝)、松山市にあるコムズにおいて、松山市市民活動推進表彰式と、市民活動交流会を開催いたしました。当日は総勢120名の市民活動関係者が集まり、互いの活動を知り合うなどして交流を深めました。

❖ 松山市市民活動推進表彰式

松山市における市民活動に功績のあった団体や、市民活動推進基金にご寄付をされた方々に対して、感謝状や表彰状が贈呈されました。

今年、市民活動推進表彰を受けたNPOは次の団体です。おめでとうございます。

- NPO法人アトリエ素心居
- NPO法人こころ塾
- JDDネット愛媛
- NPO法人俳句甲子園実行委員会
- NPO松山冒険遊び場みんなだいすき！
- レインボープライド愛媛

(五十音順)



表彰式の模様

❖ 市民活動交流会「NPO of the Year 2012」

表彰式終了後、市民活動交流会を開催しました。

寄付金分配型のプレゼン大会「NPO of the Year 2012」のほか、NPOのサービスや物品を提供する「活動紹介見本市」も開催し、お互いに活動を知り合う機会を設けました。



プレゼンの模様

プレゼン大会では30団体が参加し、2分間で自分たちの団体をPRするために、みなさん様々な工夫をされていました。スライドを用意したり、演劇風に演出したり、ちょっと準備ができていなくて、汗をかきかき話したりする方もおられて、その都度会場からは歓声が上がっていました。



プレゼンの模様



優勝おめでとう！

3グループに分かれての予選を勝ち上がったのは、「NPO えひめセラピードックの会」さん、「NPO 法人こころ塾」さん、「認定NPO法人えひめイヌ・ネコの会」さん。

いずれも高得点を獲得して決勝戦に残った団体で、いずれも工夫を凝らしたプレゼンで参加者の共感を得ていました。

決勝は3分間の発表でしたが、いずれもすばらしいプレゼンテーション。そして優勝したのは、NPO法人こころ塾さんでした。自作の大型資料を使つての演出と、明るく前向きな村松塾長のエネルギーが激戦を制しました。

村松さんへはその後、前回の優勝者であるNPO法人子育てネットワークえひめさんの山本由美子代表より、トロフィーと賞金が贈呈されました。

❖ 活動紹介見本市

今回の市民活動交流会では、各団体のサービスや商品などを持ち寄つての展示説明会、即売会も開催いたしました。NPO法人松山子ども劇場さんのお団子やNPO法人えひめグローバルネットワークさんのカップケーキ、NPO法人えひめ311さんのケーキ、家庭パン愛好会さんのパンなどは大変好評で、参加者が買い求めておいしそうに食べていました。

また、レインボープライド愛媛さんのグッズやリボンの会さんのメッセージファイル、ナツクラブさんのリース、NPO法人どんまいさんのいっぴつせん、NPO法人国際地雷処理・地域復興支援の会さんのカンボジアの衣類などが販売されたほか、NPO法人こころ塾さん、NPO法人和道さん、NPO法人アジア・キッズ・ケアさんが活動紹介をされていました。



売れ行きはどう？



会場は大賑わい！

NPO会計基準導入のコツ④

NPO会計基準を今年の決算から導入するためには、どのような処理を行っていく必要があるのでしょうか。前号から引き続き、NPO会計基準導入にあたって気をつけることを、ポイントを絞って解説します。

前号では、決算日をまたぐ前受助成金や後払助成金の処理方法、ボランティアの力を決算書上で表現することができる点、用途が制約された寄付金の処理方法についてみていきました。今号では、それ以外に必要な内容について解説します。

❖ 1. 固定資産増減の内訳を記載する

貸借対照表や活動計算書で、団体のお金の動きの全てが完璧に表現できればいいのですが、丁寧な説明をしようとすると、どうしても表現しきれないものができます。そのため、NPO会計基準においては、その部分について、決算書類の一つである『注記』を活用して記載するように求めています。

「注記」とは、団体が1年間を通して取得した資産、手放した資産、及び価値が減った資産について、その増減を内訳の一覧表にまとめて表記するものです。NPO会計基準において、車や高額な備品など団体が資産として保有しているものは、時の経過とともにその価値が減少することを踏まえ、減価償却を行うべき旨が記載されています。

そのため、これも併せて下のように記載します。

7. 固定資産の増減内訳

(単位:円)						
科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
什器備品	×××	×××	×××	×××	△×××	×××
.....	×××	×××	×××	×××	△×××	×××
無形固定資産						
.....	×××	×××	×××	×××	△×××	×××
投資その他の資産						
.....	×××	×××	×××	×××		×××
合計	×××	×××	×××	×××	△×××	×××

❖ 2. 借入金増減の内訳を記載する

団体を運営していくにあたって、役員からのお金を借り入れたり、銀行から借り入れをしたりすることがあります。しかし、金額が大きくなり、返済期間も長期にわたることや、団体の運用方法によりお金の貸し借りが不透明になることが考えられます。そのため、NPO会計基準では、現在の借入額、今期の増加額、減少額を、注記を用いて記載することを求めています。以下がその例です。

8. 借入金の増減内訳

(単位:円)				
科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金	×××		×××	×××
役員借入金	×××			×××
合計	×××		×××	×××

❖3. 借入金増減の内訳を記載する

役員や役員の近親者等に対する資金の動きについては、やはり明確しておかなければ団体の信用問題に直結すると思われます。そのため、NPO会計基準においても役員等(理事や監事及びその2親等以内の親族等)のお金の動きについては、透明性を確保し不公正なお金の流れがないかどうか利害関係者がチェックできる仕組みとして、注記を用いて記載することを求めています。

ただし、役員ごと、かつ勘定科目ごとに、年間の合計額で100万円を超える場合に記載をし、役員報酬や、賞与及び退職慰労金の支給については注記を要しないこととなっています。

9. 役員及びその近親者との取引の内容
役員及びその近親者との取引は以下の通りです。
(単位:円)

科目	財務諸表に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書)		
受取寄付金	×××	×××
委託料	×××	×××
活動計算書計	×××	×××
(貸借対照表)		
未払金	×××	×××
役員借入金	×××	×××
貸借対照表計	×××	×××

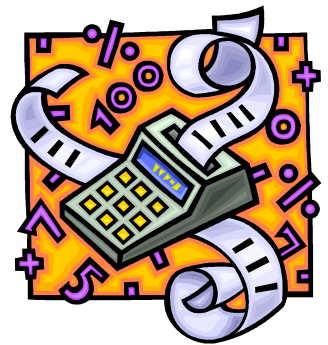
❖まとめ

これまでは、NPO自体の活動分野がとても広く、事業規模にも大きな差があり、NPO特有の取引があるということで、数多くの問題が起きていました。それらを解決するための手段として、NPO会計基準を活用することはとても有用ですし、利害関係者にわかりやすい書類となります。

法改正に対応するためだけに、従来の収支計算書の表題を「活動計算書」に置き換えるだけでなく、団体内でお金の処理について話し合いを持つよい機会になると思いますので、ぜひ会計基準の導入を検討していただきたいと思います。

また、NPO会計基準が求めている決算書類は、活動計算書、貸借対照表、財産目録、注記の4つです。なかでも、活動計算書や貸借対照表をシンプルにした分、利害関係者への補足説明資料としての意味を持つ「注記」はとても重要です。

これらの4つの書類は、自分たちの1年間の成果をまとめ、利害関係者に報告するための後始末の書類ではありません。来年度以降、自分たちの団体はどのように進んでいくべきかを考える際の、参考資料として活用できます。NPO会計基準を導入し、さらなる団体発展に役立ててください！



お知らせコーナー

お忘れなく【松山市NPO登録団体の事業報告書等提出】

3月末で年度末を迎える松山市NPO登録団体の方は、

- ・事業報告書等提出書（様式第7号）→センターHPからダウンロードできます
- ・事業報告書
- ・収支決算書
- ・役員名簿

を、できるだけ早く市民参画まちづくり課かセンターまでご提出ください。

開催します【NPO決算個別相談会】

決算書、事業報告書、年度末手続きについての相談会を開催します。

【日時】5月11日（土）13：30～16：00

【場所】コムズ4階視聴覚室A

【定員】1団体30分程度 ※要予約・時間は調整させていただきます

【内容】税務・決算：税理士 石丸裕司

会計・決算：愛媛中小企業指導センター職員

まつやまNPOサポートセンター職員 三好

年度末手続き：行政書士 佐野透

【共催】愛媛中小企業指導センター

開催します【NPO会計講座＊初級編】

日常のお金の取り扱い、帳簿の付け方、金銭管理の方法を学ぶとともにNPO会計基準の基本部分を学ぶ講座を開催します。

【日時】6月7日（金）13：30～15：30

【場所】コムズ3階会議室2

【定員】30名（1団体2名以上でお越しいただくと効果的です）

【講師】愛媛中小企業指導センター職員

まつやまNPOサポートセンター 三好

【共催】愛媛中小企業指導センター

お問い合わせは まつやまNPOサポートセンターまで

〒790-0003 松山市三番町6丁目4-20 コムズ内

Tel: 089-943-5790

Fax: 089-943-5796

E-mail: pico@npo.coms.or.jp

URL: <http://www.npo.coms.or.jp>

まつやまNPO

検索